

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第1四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第1四半期の来館者数は、6,419人（前年度同期 8,339人）で、前年度同期と比べ1,920人・約23.0%の減であった。
- ・前年度は開館20周年にあたり多数のイベントを実施したが、今年度はイベント数が少なく、また5月の大型連休により集客が伸び悩んだことが減少の原因と考えられる。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・季節に応じた植物の植付などを行った。

● 施設の運営

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり、展示替えを行い、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
- ＊展示替 62作品62点の展示（4月）
72作品72点の展示（5月）
- ・各展覧会とも展示解説を実施し、4月～6月の展示解説への参加者は延べ639人だった。
- ・第1四半期は普及事業及びその他事業が多く計画されているが、滞りなく実施しいずれも好評を得た。
- ＊子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」
- ＊親子・子ども参加プログラム「屏風に日本画材を使って絵を描こう！」
- ＊市民講座
- ＊地下道ギャラリー50展示
- ＊日本画ワークショップ「日本画材を使って、絵を描こう！」
- ＊日本画制作実演
- ＊美術講演会「文明開化に生きる三遊亭圓朝～鏑木清方との関わりとともに～」
- ＊鎌倉の紫陽花と美術館を巡ろう

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究や、近隣文化施設との5館連携スタンプラリーを行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を5月17日、6月14日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

4月

「小・中学校 図工の指導要領に関する調査」、「清方の明治期の画業に関する調査」、「大正期の南画と風景画の定義における調査」、「柿内青葉作品の実見調査」、「西田青坡の画業についての調査」、「三遊亭圓朝に関する調査」、「條野採菊に関する調査」、「日本美術学院「日本画講義」に関する調査」

5月

「一般向け鑑賞補助の実例調査」、「清方の明治期の創作活動に関する調査」、「三遊亭圓朝に関する調査」、「條野採菊に関する調査」、「柿内青葉作品の実見調査」、「清方の御殿場疎開生活についての調査」、「近世の職人尽くし絵、幕末の絵物語の実見調査」

6月

「清方の烏合会時代の画業についての調査」、「清方の随筆における年方門下時代に関する記述についての調査」、「清方の蔵書と自筆文献に関する調査」、「明治時代の婦人雑誌に関する調査」、「青衿会に関する調査」、「清方《梨一枝》の実見調査」、「清方と弟子たちの郷土会出品作の調査」、「門井掬水、西田青坡、小早川清、山田喜作の作品実見調査」、「異画会の初期の活動の調査」

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(4月分:5月14日、5月分:6月13日、6月分:7月10日提出)。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・6月8日、「鎌倉の紫陽花と美術館を巡ろう」開催中に、参加者1名が転倒し頭部を打撲された。病院へ搬送し検査に立ち会った。検査結果に異常がなかったので参加者は自力で帰宅された。

● その他

- ・4月1日からインターン1名(桜美林大学)を受入れている。
- ・5月18日の「国際博物館の日」に展示解説を行った。(15人参加)
- ・6月29日、泉鏡花没後80年関連事業として、トークセッション(相模原女子大学)へ講師派遣した。
- ・6月14日、東京文化財研究所が実施した展示室保存環境調査に立ち会った。

6 全体評価

- ・第1四半期の来館者数は6,419人、昨年度同期の8,339人と比較して1,920人・約23.0%の減となっている。前指定管理期間の同四半期の平均値(7,532人)と比較して85.2%となっている。
- ・前年度は開館20周年にあたり多数のイベントを実施したが、今年度はイベント数が少なく、集客に影響が出たものと考えられる。今後は、さらに市民に定着する、集客が見込めるイベントを企画・実施してほしい。
- ・5月の大型連休により、鎌倉への観光客が分散化され、集客が伸び悩んだことも、来館者数の減少の原因と考えられるが、大型連休のような時間的余裕が生まれる時期を好機ととらえて、美術館へ足を運んでいただける宣伝等を戦略的に行ってもらいたい。
- ・調査・研究について、今期指定管理者選定委員会からも、図録作成などの成果を示していることに一定の評価をいただいている。評価された調査・研究の成果を市民等より多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。
- ・今年3回目となる「鎌倉の紫陽花と美術館を巡ろう」(紫陽花ツアー)を開催し、延べ142名(1日雨天中止62名不参加)の参加があった。参加者のうち、74%の方々が初来館者であった。
- ・今後は、多世代に渡る来館者を得るため、さらに方法を工夫してイベントを企画してほしい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、日々職員が清掃や剪定作業を行い環境づくりに努めている姿勢は評価できる。

鎌倉市鍋木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第1四半期判定評価

評価項目	判定点	第1四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計	122		0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%